

平成 18 年度当初予算における政策重点化枠予算要求の内容と査定結果【予算措置を見送った事業】

(単位：千円)

保 健 福 祉 局 予 算 要 求 の 内 容				検討が必要な事項
事 業 名	事 業 概 要	成 果 目 標	要 求 額	
障害者の雇用及び授産製品販売促進モデル事業 ＜保健福祉局＞	(福)京都身体障害者福祉センターが、「特別養護老人ホーム同和園」を内装改修して設置する「喫茶コーナー」等の整備に対し、補助を行う。 設置場所：京都市伏見区醍醐上ノ山	・障害者の就労移行支援を行うことにより、障害者福祉の向上を図る。	8,000	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討
災害時における聴覚障害者への情報伝達システム整備 ＜保健福祉局＞	災害時における障害者への対応について、災害時に有力な情報伝達手段となる音声を聴取できない聴覚障害者への対応が特に課題となっていることから、災害時の避難所等の拠点となる各区役所に、字幕CS放送受信機を設置する。	・災害時に聴覚障害者が早期に、適切な情報を得る体制を整備する。	3,640	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討
精神障害者退院促進支援事業 ＜保健福祉局＞	入院している精神に障害のある市民のうち、症状が安定しており、受入れ条件が整えば退院可能な方に対して、地域生活支援センターを中心に関係機関が連携し、退院に向けて必要な支援・訓練を行う。 平成 17 年度：実施センター1 箇所 10 人 平成 18 年度：実施センター2 箇所 20 人	・対象者を 20 人に設定し、対象者の退院率 50%を目標とする。	8,387	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討 障害者自立支援法の施行に伴い、本事業は都道府県が実施すべき事業に位置づけられたため、採択を見送る。
多子世帯おでかけサポート事業(仮称) ＜保健福祉局＞	多子世帯(3人以上の児童を養育する家庭)に対する支援として、京都市在住の児童手当受給家庭のうち、18歳未満の児童を3人以上養育し、かつ第3子以降の児童が3歳未満である世帯にタクシー料金又は市バス・地下鉄料金の一部を助成する。	・多子世帯(3人以上の児童を養育する家庭)の日常生活の利便と経済的な負担の軽減を図る。	79,198	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の検討 後年度財政負担の検討

この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。

(単位：千円)

保健福祉局 予算要求の内容				検討が必要な事項
事業名	事業概要	成果目標	要求額	
昼間里親運営委託  <保健福祉局>	多様な保育ニーズにこたえていくため、新たに1時間の延長保育を実施する。	・長時間保育にこたえることにより、子育て支援の充実を図る。	3,324	公民等役割分担の検討 既存施策との整合性検討 事業内容・実施手法の精査 後年度財政負担の精査

この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。